

事業分類		<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 必需		公的関与 3		作成日 30年 6月 25日			
事務事業名		合併処理浄化槽事業費				シート作成部署			
総合計画上の位置付け	基本施策	4 快適なまち				課名	環境防災課	係名	環境資源係
		4-2 良好な生活環境のまちをつくる				シート作成者			
	施策	4-2-1 環境衛生対策の推進				予算費目	会計	一般	
		⑥ し尿等の適正処理					款	4	
主要施策					項		2		
					目		2		
個別計画名									
住民との関わり		特になし							
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）			目的（どういう状態にしたいのか）					
	住民			公共下水道認可区域外世帯への合併浄化槽の普及促進を図り、環境負荷削減を行う。					
事業内容（どのような方法で、何を行うのか）		公共下水道認可区域外でくみ取り便所又は単独浄化槽を設置している世帯等が合併処理浄化槽に改造する場合及び新設時に設置する場合に補助金交付を行う。							
事業期間		昭和 <input type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 年度 ~ 平成 年度 ( 年間) <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし							
根拠法令・要綱等		東員町合併浄化槽設置整備事業補助金交付要綱							
		平成28年度（決算）		平成29年度（決算）		平成30年度（予算）			
全体事業費（千円）A+B		0		20		684			
財源内訳	国庫支出金	0		0		0			
	県支出金	0		0		0			
	地方債	0		0		0			
	その他特定財源	0		0		0			
	一般財源	0		20		420			
直接事業費（千円）A		0		20		420			
人件費（千円）B		0		0		264			
内訳	一般職員（人・千円）	0.00 人	0	0.00 人	0	0.04 人	264		
	臨時職員（人・千円）	人	0	人	0	人	0		
成果指標	成果指標名			単位	29年度		30年度	31年度	
					目標	実績	(目標)	(目標)	
	①	合併処理浄化槽設置数		基	1	0	1	1	
	②								
③									
説明	下水道認可区域外での汲み取り、単独浄化槽から合併処理浄化槽へ1基でも多く変更していただき環境負荷削減を行う。								

事業名		合併処理浄化槽事業費			シート作成課		環境防災課	
一次評価者		環境防災課長			二次評価者		生活部長	
評価項目の説明	チェック項目				一次	二次	一次の評価又は説明	
	必要性	1. 事業開始時の目的を概ね達成するなど実施意義が低下している。 2. 社会情勢の変化など時の経過とともに事業開始時の目的が変化してきている。 3. 利用者、対象者の減少など住民ニーズの低下傾向がみられる。 4. 住民ニーズを上回るサービス提供となっている。 5. 国や他市町と比較するとサービスの対象や水準を見直す余地がある。 6. 国や県のサービスと重複している。 7. 民間のサービスと競合している。 8. 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない。			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	下水道区域外では浄化槽以外に水洗化の方法がなく、今後も行政の関与は必要です。  設置後すぐに放流水が浄化されることから設置者の環境衛生は高くなります。  下水道区域外の汲み取り・単独浄化槽世帯の設置がないことから、補助内容のPRをする必要があります。  人槽により、補助金額が異なることから、設置数が増えればコストは増加するものの補助金額の見直し等も必要と考えます。	
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。 2. 施策への貢献度が著しく高いとはいえない。 3. 施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。 4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	達成度	1. 事業開始時の目標設定に比べて進捗状況が劣っていると思う。 2. 事業開始時の目標に比べて成果があまり上がっていないと思う。 3. 概ね目標を達成していると思う。 4. 十分に目標を達成していると思う。			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い（他市町や類似業務を行う民間に比べて）。 2. 現在の事業実施主体の他に効率的に事業を実施できる主体がある。 3. 他の実施主体のノウハウを活用できる。 4. 他の実施主体を活用しても公平性・公正性等が担保され、行政責任が問われない。 5. 事業実施している人員、手段等の見直しによりコスト削減の余地がある。 6. 電子化等の事務改善によりコスト削減の余地がある。 7. 契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
<b>本事務事業の実施適切性の説明</b>								
下水道認可区域外での合併処理浄化槽の設置については、水洗化の有効な手段であり、ニーズも高いと思われるので、今後においても設置者に対し補助事業を行っていきます。								
一次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
		4	4	2	3	(8) B (5) 8	A	
		休・廃止		見直し	継続	(7) D (6) (2)	(5) (6)	C (8)
今後の方針	○							
今後の改革・改善目標	快適な生活環境を維持するため区域外世帯への補助事業の啓発に努めます。							
二次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
		4	4	2	3	(8) B (5) 8	A	
		休・廃止		見直し	継続	(7) D (6) (2)	(5) (6)	C (8)
今後の方針	○							
コメント	区域外世帯への啓発が必要。							
二次評価に対する課の考え方								
参画協働の今後の方針	いつから	平成	年度から	1 現在の手段を継続する				